

政策提言

～新火葬場建設の早期実現に向けて～

一、現火葬場における諸課題

- ① 施設・設備の老朽化への対応
(今後の施設維持に多額の修繕が必要)
- ② 利用者への問題対応
 - バリアフリーへの対応
 - 火葬炉等の問題や待合室不備の解消
 - 駐車スペースの確保
 - 環境対策
- ③ 将来の火葬需要への対応

二、新火葬場施設における施設設備の考え方や方向性について

- ① 施設のあり方
 - 人生の終えんの場にふさわしい施設
 - 環境に配慮した施設
 - バリアフリーに配慮がされた施設
- ② 施設の予定地について
 - 維持管理や保守をおこないやすく、安全で経済的な施設
- ③ 利便性について
- ④ 規模について (将来の人口予想と斎場機能をもつホールの併設)
- ⑤ 財源について (合併特例債や過疎債の適用の検討)
- ⑥ 組織について (中部広域圏域での取組みの検討)



現在の火葬場



福知山市葬場

新火葬場建設の早期実現を求める決議

昭和45年4月に建築された船井郡衛生管理組合火葬場は、今日40年近い年月が経過する中、施設の老朽化が進み、施設の不備と近年多額の修繕費を必要としてきたところであり、今後予想される火葬需要への対応など、多くの課題や問題を抱えている。

現施設は、合併以前、船井郡衛生管理組合議会火葬処理常任委員会の審議により、平成15年度に新設移転の基本設計がなされたが、合併に伴い中断となった経緯があり、今後恒久的な観点に立ち、早急に検討しなければならないとされている。

今後さらに進む少子高齢社会において、子育て支援や高齢者対策施策の充実が必要不可欠であり、誰もが生まれ育ち、学び、憩い、支え合いながら安心して暮らせるまちづくりが求められている。

火葬場は、社会生活において、故人の尊厳を尊び、安らかに弔うことができる人生終えんの場であり、財政状況厳しくとも、広域的な取り組みや、市遊休土地等の活用も含めた総合的な検討により、建設を早期に実現されるよう、提言書を添えて求めるものである。

以上、決議する。

平成21年9月25日

南丹市議会



10月5日、吉田議長が佐々木市長に提言書を提出

常任委員会活動報告

総務常任委員会

6月29・30日

岡山県新見市及び備前市へ行政視察を実施「新見市の小中学校の統廃合について」は17年3月合併後、教育委員会では統廃合の検討委員会を設置され、市民あげて取組みがされています。小学校5校、中学校4校を統合され、平成23年度までに小学校26校を17校に、中学校10校を6校にするこ

とが決められています。本市も過疎化・少子化の進行により、小学校で50人以下が9校、複式その他が6校あり、今後の学校の適正配置が求められています。

「備前市の行政評価システム」各施策や事務事業の目標を設定し、その達成度を測定し総合計画の管理を行い、すべての事業の妥当性、効率性、有効性を5段階で評価し、継続充実するもの、



小中学校統廃合について研修 (岡山県備前市)

産業建設常任委員会

7月8・9日

岡山県倉敷市及び真庭市へ行政視察を実施しました。

倉敷市での美観地区夜間景観照明事業は、知名度の高い観光地でありながら観光客が減少し、さらに郊外型大型施設の影響を受け、商店街周辺を回避する人々が減少し、また現状は通りが暗いため、夜の魅力の向上や観光客の誘致、官民協働のまちづくりを実現するために、夜間照明を実施するものです。



岡山県真庭市勝山町並み保存地区

世界的デザイナー石井幹子氏に依頼し、平成17年から倉敷美観地区の倉敷川沿いエリアをメインに国土交通省のまちづくり交付金を受け、夜間景観照明が始まりました。

その他、美観地区では電柱をなくし、電線類の地中化や商店街の古い

アーケードを撤去し、明るくするなど工夫がされています。

真庭市の勝山町並み保存地区では白壁や格子窓が連なり、ヒノキやスギ、ヨモギ等の自然草木染めの暖簾が、全ての家々の軒下に揺れ、町屋の風情を醸しだしていました。

本市としてアイデアは買えるが財政力と観光地条件が及ばないと感じました。

厚生常任委員会

所管事項である老朽火葬場の調査に取り組みました。船井郡衛生管理組合火葬場は、築後40年近い年月が経過し、施設の老朽化が進み、施設の不備や多額の修繕費が必要であり、今後予想される火葬需要への対応など、多くの課題や問題を抱えています。

委員会では、4月17日、福知山市、綾部市へ、5月20日には最近改修を終えられた鳴門市の施設を視察する中で、現施設の問題点、改修に向けた課題について論議を重ね「政策提案」としてまとめ9月議会に委員連名で提案し可決されました。

火葬場は、恒久的な観点に立ち、早急に検討しなければならぬ課題であり、社会生活において、故人の尊厳を尊び、安らかに弔うことができる人生終えんの場であることから、財政状況厳しくとも、広域的な取り組みや、市遊休土地等の活用も含めた総合的な検討の中で、早期の建設が求められます。

(16ページに詳しい内容を掲載)



徳島県鳴門市の斎場